

加古川平成ロータリークラブ

会長 鈴木 勝博
 幹事 柿本 徹也
 広報小委員長 網本 幸雄
 2680地区ガバナー 浅木 幸雄

例会日／毎水曜日 12:30～13:30・例会場／加古川プラザホテル
 事務局／加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館
 Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100

ホームページ <http://k-heisei-rc-com> / Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp



2019～2020年度RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

No. 1396 August 28、2019

例会プログラム

第7回(8月 28日)

卓話

「山の話」

清水 洋輔会員

例会当番 鳥井

次週例会プログラム

(9月 4日)

卓話

「隠れたる姫路城の魅力」

株式会社 西嶋工務店

専務取締役 西嶋 宣久氏

次週例会当番 林

前週例会報告

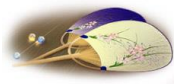
◇ ゲスト

◇ ビジター

◇ 出席率 会員数 17名 出席数 14名 欠席数 2名 出席率 87.5.00%
 出席計算会員数 15名 7月 10日 補正出席率 86.67%

◇ 欠席者 2名 藤田 宮宅

◇ メークアップ



★ 会長の時間

★ 幹事報告

★ 卓話 井上会員

RIテーマ ロータリーは世界をつなぐ

ロータリーの価値観、目的等について

- 1 2007年、ロータリーは、ロータリーの基本的特徴であるとの理解のもと、次の5つの価値観を中核的価値として採択しました。それは、①親睦、②高潔性、③多様性、④奉仕、⑤リーダーシップです。
- 2 上記中核的価値のもと、ロータリーは、国際ロータリー定款においても標準ロータリークラブ定款においても、次の4つの目的を定めています。それは、①知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること、②職業上の高い倫理基準を保ち、役だつ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること、③ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること、④奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること、です。
- 3 4つの目的のうち、最初に挙げられているのは、①知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること、です。すなわち、ロータリーは、奉仕の機会とするために知り合いを広めることを説いています。知り合いを広めることは手段であり、奉仕を実践することが目的であるものとして書かれています。そこは、営利を目的として知り合いを広めることが中心となっている団体とは一線を画すものです。4つの目的に順位はないのかもしれませんが、最初に掲げられていることからして、ロータリーはこの目的を最も重視して考えているといってもよいかもしれません。
- 4 では、奉仕とは何かということになりますが、それは「利害を離れて国家や社会などの為に尽くすこと」（デジタル大辞泉）です。つまり、利害を離れて自分以外の者に尽くす為に知り合いを増やすことを、ロータリーは最初の目的として挙げていることになります。
- 5 ロータリーは、奉仕を行うべき分野として、標準ロータリー定款において、次の5つの奉仕部門を挙げています。それは、①クラブ奉仕、②職業奉仕、③社会奉仕、④国際奉仕、⑤青少年奉仕、です。クラブ奉仕とは、クラブ機能を充実させる為に会員がクラブに尽くすことです。職業奉仕とは、事業及び専門職種の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるという認識を深め、職業に携わるなかで他者に尽くすことです。社会奉仕とは、クラブの所在地域または行政地域内に居住する人々の生活の質を高めるために尽くすことです。国際奉仕とは、他国の人々とその分野や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培ったうえで、国際理解、親善、平和を推進する為に尽くすことです。青少年奉仕とは、青少年並びに若者によって好ましい変化がもたらされることを認識し、それに尽くすことです。
- 6 各ロータリークラブにとって、会員増強は急務です。その中でも当ロータリークラブは少人数クラブであり、会員増強は切実な問題です。ITが発達し、知り合いを広める手段が多様化した現在、知り合いを広める手段としてのロータリークラブは他の団体と特別な差異はありません。前述したとおり、ロータリーの特異性は、その知り合いを広める手段が、奉仕の理念を実現する目的の為にありということにあります。会員増強を行うにあたり、ロータリーと他の団体はいったい何が違うのかと聞かれた際には、簡潔に、奉仕をするために人の輪を広げること、即ち、会員が利害を離れて地域社会等に尽くす為に知己広げていく団体であるという説明を行ったうえで、具体的な活動等について説明していくのがよいのではないかと考えています。

以上

本日の幹事報告

※ 例会欠席の時は必ず事前に事務局へ連絡！

① 各RC例会変更のお知らせ

明石東RC 9月12日(木)→「月見例会」 於；平安神宮会館(京都)
10月31日(木)→「休会」 <定款第8条第1節(C)により>

高砂RC 9月20日(金)→休会【定款第8条第1節(C)による】
9月27日(金)→高砂青松RCと合同例会 於；ウエディングパレス鹿島殿

高砂青松RC 9月11日(水)→9月7日(土)18:30～ 納涼例会 於;十輪寺
9月18日(水)→休会【定款第8条第1節(C)による】
9月25日(水)→9月27日(金)12:30～高砂RCと合同例会
於;ウエディングパレス鹿島殿
加古川中央RC 10月3日(木)12:30～→18:00～3クラブ合同例会のため
於;加古川プラザホテル2階
10月24日(木)→休会【定款第8条第1節(C)】による

② 回覧します

- ・国際ロータリー第2680地区ロータアーク『2019-20年度 アークの日』のご案内
- ・熊本ロータリークラブ週報
- ・(一財)兵庫県ボーイスカウト振興会より、振興会維持費納入のお礼とスカウト兵庫 No. 10

③ Box に尼崎先西ロータリークラブ創立 35 周年記念例会のご案内を入れています。クラブで登録いたしますので、ご出席の方は事務局までお知らせください。

SONG TODAY

四つのテスト

作曲 水谷暢宏

真実か どうか

みんなに 公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか



クラブ会報・雑誌
記録小委員会

ロータリー平和フェローが女性へのストリートハラスメントや暴力と闘う



ムンバイのエルザマリー・ジルバさんは客室乗務員としてキャリアを始め、インド最大の航空会社の1つで副社長にまでなりました。しかし、社会の怒りを巻き起こした異常なほど凶悪な2012年デリーでの集団レイプ事件を知り、劇的なキャリア転換を図りました。

ジルバさんは、女性に対するストリートハラスメントと暴力に取り組むため、インド、ネパール、ケニアのNGO（非政府組織）と協力するレッドドット財団を設立。同財団は、地域でワークショップを実施し、性的な嫌がらせやヤジ、痴漢行為に遭った場所をセーフシティと呼ばれるネット上のクラウドマッピング

ングに記録するよう女性たちに呼びかけています。ジルバさんはチェラーロンコーン大学（バンコク）の元ロータリー平和フェローです。

Q: なぜこの分野で働くことを選んだのですか？

A: 性的暴力は世界中に蔓延しています。女性の3人に1人が少なくとも一度は経験していますが、80%は正式に苦情を申し立てないのが現状です。インドでは20分に1件、レイプ事件が起きています。インドには大変厳しい法律がありますが、それを行使しなければ何の意味もありません。まだ警察に対する恐れ、自分や家族が恥をかくことへの恐れがあるのです。

Q: インドで育つ中で、この種のハラスメントにあなた自身も遭遇しましたか？

A: はい、バス、路上、電車で痴漢行為に遭いました。私がこの仕事を始めたとき、「なぜあなたがムンバイで電車に乗らないのかがわかった」と友人に言われました。その理由に自分自身も気づいていなかったのですが、痴漢に遭うといった出来事が自分たちの生活をどれだけ制限しているか、私たちはわかっていないのです。

Q: レッドドット財団がどのように女性に力を与えてきたか、事例を教えてくださいませんか？

A: セーフシティのアプリを見ていて、(ハラスメントの) ホットスポットがインドで男性だけのスペースである紅茶屋台の周辺にあることがわかりました。人通りの多い道にあるので、女性が通りかかると男性たちがじっと見て声をかけ、脅かしていたのです。女性たちにどうしたいかと訊いたところ、彼女たちは「じろじろ見るのをやめてほしい」と答えました。私たちの文化では、女性は男性に直接立ち向かえないのです。そこで私たちは、女性のためのアートワークショップを開き、近所の壁に「目ではなく、心で見て」と訴える絵を描きました。その後、男性たちの見つめる行為はなくなりました。そのような行為が不適切であることを、地域の人びとに分かってもらえたのです。

Q: この努力がストリートハラスメントの減少につながっていると思いますか？

A: ハラスメントが減ったとは思いません。一つ言えるのは、それについての会話が増え、女性が自分たちの権利についてもっと認識し、事件を報告しようと思うようになっていることです。女性たちが口を開くようになったので、悲しい話をもっと聞くことになるでしょう。

Q: ロータリー平和フェロー時代に何を学びましたか？

A: いわゆる「防止」を目的とする私たちの仕事は、実は平和構築につながっているということです。「男らしさ」というステレオタイプが日常的に害をもたらしていることを人びとに理解してもらい、それについて議論し、互いの考えを理解できる安全な場所をつくりことで、人びとがこうした複雑な問題を乗り越え、自らの力で変化をもたらせるよう手助けしているのです。